

圓鰐勝三彫刻美術館 夏季展

圓鰐勝三

色の  
ひ  
み  
つ



圓鰐勝三 「青い鳥」 1984

2024  
6.18 TUE - 9.8 SUN

開館時間／午前9時から午後5時（入館は午後4時30分まで）

休館日／月曜日（祝日の場合は翌日）

入館料／大人420円（340円）高校生310円（250円）

※（ ）内は20名以上の団体料金

※中学生以下・70歳以上（要年齢確認）、各種手帳をお持ちの方  
（スマートフォンアプリ「ミライロID」も利用可能）は無料

各種手帳をお持ちの方 ※対象は以下の通りです。

- ・身体障害者手帳
- ・療育手帳
- ・精神障害者保健福祉手帳
- ・・・所持本人（1級～4級の場合は付添人1人）
- ・・・所持本人、および付添人1人
- ・・・所持本人、および付添人1人



圓鰐勝三彫刻美術館

ENTSUBA KATSUZO SCULPTURE MUSEUM

〒722-0353 広島県尾道市御調町高尾 220 番地

TEL.(0848)76-2888 FAX.(0848)77-0071



圓鰐勝三（えんつばかつぞう）は明治 38（1905）年に尾道市御調町に生まれ、16歳の時に彫刻家を志します。努力と勉強熱心さから夢をかなえ、日展をはじめ様々な公募展で活躍し、多摩美術大学で教鞭をとるなど近代彫刻界に影響を与えた彫刻家の一人となりました。昭和 63（1988）年にはその功績が認められ、文化勲章を受章します。

作風は肖像のような写実的なものから、素材や形を心のままに制作した作品まで、多岐にわたります。現在でも様々な場所で見ることのできる野外彫刻は、人々に親しまれ愛され続けています。

圓鰐勝三は木彫の柔らかな素材の色の中に、緑青の銅版を組み合わせた作品を多く制作しました。「夢の丘」や「シルクロードの旅」などの作品は歴史の長さや尊さを表現するために、時間をかけて美しく自然発色した銅版が用いられています。圓鰐勝三彫刻美術館が建てられる際には屋根の色も緑青色にするほど、圓鰐勝三はこの色を好みました。

「やはり自然の色には勝てない」と自然色の魅力を感じた圓鰐勝三の色へのこだわりは、木や石などそのものの美しさに加え、ブロンズ表面の着色にも見ることができ、作品の世界を表現するための欠かせない要素となっています。

本展覧会は、色に注目して作品の魅力をご紹介します。作品の中に様々な色を探しながらお楽しみください。



圓鰐勝三 「芸」 1980



圓鰐勝三 「夢の丘」 1991



圓鰐勝三 「みあがりおどり」 1992



【交通機関】

〔JR・バス利用〕

JR 尾道駅、JR 新尾道駅から、中国バス「甲山」行きに乗車、「道の駅クロスロードみつぎ」下車 タクシーで 10 分

〔車利用〕

東・北からは、尾道自動車道・尾道北 IC 経由、西からは山陽自動車道・三原久井 IC 経由国道 486 号線で御調町へ、国道 184 号線経由で府中分かれ交差点を左折して約 5 分



開催中美術館休憩室にて

ぬりえなどができます！

＼ SNSをチェック！ /



圓鰐勝三彫刻美術館

ENTSUBA KATSUZO SCULPTURE MUSEUM

〒722-0353 広島県尾道市御調町高尾 220 番地

TEL.(0848)76-2888 FAX.(0848)77-0071

＼ HPはこちらから /

